

市民と議会の意見交換会
(留萌の明日を創る会)
結果報告書

令和7年7月10日 留萌市議会

実施概要

1. 目的 留萌市議会基本条例に基づき「市民にわかりやすく・開かれた議会」、「市民参加の機会の拡充」及び「市民への説明責任を果たす」ことを目的とする。
2. 申込団体 留萌の明日を創る会
3. 開催日時 令和7年5月29日（木）18：30～19：30
4. 場所 留萌産業会館
5. テーマ 旧留萌駅跡の再開発について（留萌の明日を創る会からの提起）
6. 議会参加者 留萌市議会公共施設整備調査研究会
7. 開催次第
 - (1) 開会
 - (2) 会長挨拶 留萌の明日を創る会会長 佐藤 功様
 - (3) 議長挨拶 留萌市議会議長 燕 昌克
 - (4) 意見交換
 - (5) 閉会

8. 参加者名簿

(順不同)

留萌の明日を 創る会	梅田繁樹様
	昆多利様
	岩渕勝之様
	山内和則様
	菅保堂様
	佐藤功様
	田仲淳一様
	山本直人様

留萌市議会 公共施設整備 調査研究会	小野敏雄座長
	村上均副座長
	宇川達朗委員
	田村裕樹委員
	米倉靖夫委員
	野崎良夫委員
	燕昌克議長
	村山ゆかり副議長

9. 意見結果 「意見集約結果」に記載のとおり

意見集約結果

No.	内容（質疑、意見、要望等）	回答
1	留萌市議会公共施設整備調査研究会では、どのような内容を調査しているのか。	平成28年度に国の指導に基づき、各自治体において公共施設等整備総合管理計画を策定した。それにより公共施設の更新時期、耐震性の配慮、複合化、長寿命化、統廃合など公共施設の在り方が問題になってきた。そういった中で新たな公共施設の構想も計画されるため、チェック機能を持つ議会として市民が何を望んでいるかも含めて調査研究し、議会議論に反映させることを目的に、令和3年度からこの研究会を設置。市民意見を反映させながら、いかに健全な財政を維持していくかという視点に立ち、調査研究している。
2	今後、留萌市議会議員として市民にどのように投げかけていくのか。	議会としても、市民との意見交換会や街頭アンケートを実施し、市民意識の調査なども行っており、意見を集約し検証を行っている。議会としても「議会だより」など含めて、我々の考えは議会議論の中で市民の皆さんにお知らせしている状況である。
3	ほかに複合施設としているところはあるのか。	研究会の活動として様々視察を行っている。令和6年度は根室市と富良野市、令和5年度は北見市を視察して、書かない窓口（ワンストップ窓口）や市民の交流の場がどのように確保されているかを調査研究してきた。留萌市は市役所機能のほか

		にホール機能、会議室なども含めた複合施設を予定しており、富良野市が同じような形で複合施設を建設した。
4	北見市は箱ものばかり造り空洞化し、バランスが崩れていると聞いている。	北見市は合併により大きくなっているため、広域な行政区域になっており、それが財政負担になっていると考察している。箱ものだけ良いものを造って、市民の生活に支障が出ないよう、議会としては持続的な経営ができる財源についても厳しく議論している。
5	意見交換を複数回行った中で、いずれは議会として基本構想について市長に発信し、内容をブラッシュアップしていく場面はあると思うが、どのタイミングで行うのか。	研究会の中で説明のあった構想については問題点、論点の整理をさせてもらい、規模や機能の問題などを市に伝え、持ち帰ってもらい検討いただいて、次回お答えいただく形で進めている。研究会で議論した内容は場を設けて全議員に共有し、議員それが一般質問などで市へ伝えていく、共同作業として作り上げるような形となっている。
6	意見交換会の内容はホームページで見たことがあるが、温浴施設を希望する声が多いように感じる。要望の声が多いことについて、何かお考えか。	数的には多くはないが、目立つ要望ではある。市は財政的な問題がありなかなか顔を向けてないが、市民の要望のひとつであることは確か。一般質問で市長に聞いたこともある。「すぐにはできないが、将来的に可能か調査させていただきたい」と答弁をいただいているが、現実問題としては難しいと実感を持っている。
7	JRから土地を無償譲渡してもらうと聞いているが、どれく	譲渡を受けるにあたって危険度など様々調査が必要であり、

	らい進展しているのか。	簡単に譲ってもらうのが良いわけではなく、負担になることもありうるため、市にとって有益か精査が必要。そのためには2年はかかると見込まれる。
8	土地の代替案はないということか。	お見込みのとおり。
9	いざ掘削してみたら、異物が埋まっているというのもあり得るのではないか。追加費用がかかって、基本計画からやり直しになるのでは。	小麦集出荷貯蔵施設の建設時に埋蔵物が出てきたことがあったため、今回も出てくる可能性はあると考えられる。
10	マスタープランの作成までこの研究会が本線になるのか。	この研究会は議会が物事を決めて提案するものではなく、提案される構想に問題点がないか、論点がずれていないか、市民意見は反映されているか、財源の問題は、などを検討する研究会。市民の皆さんのが議会とは別で、アドバイスを含めた論点整理の場である。
11	留萌市は釣りに訪れる人が多い。朝早く海岸に来ているためトイレがなく、ごみを捨てるところがないと話を聞く。	
12	市庁舎建設の話が遅くなった理由は。	もともと留萌市は、市庁舎建設よりも社会教育施設を優先する考えだったため遅くなった。JR廃線により土地の有効利用を含めて、庁舎機能を含めてはどうかとの市民意見もあり、複合施設に向けての機運が高まってきた。
13	地震もそうあるわけではないが、やはり津波など災害を考えると駅前が本当にふさわしいのか。	これについては市も考えている。過去に川が氾濫したことがあるが、その後河川改良が進み、昭和63年程度であれば洪水

		になることはないと考えているとも言っていた。
14	庁舎機能を分散するとはどういうことか。	現在でいうならば、はーとふるのイメージである。
15	新庁舎の構想として、ワンフロア集約などは、これから人口も減り職員数も減少傾向にあると思うので大変良いと思うが、今の職員のまま引っ越しをすると職員が余るのではないか。	職員数の想定は難しく、現在の人数をベースに面積を考えることが基本になる。今後DXなどにより人が不要になる部分も出てくることは、事実としてあると考える。今は、執務スペースには市民は入れなくなり、その分会議室を増やしていくところが多い。
16	複合施設に文化センターや公民館が入るとなると、スポーツセンターはどうなるのか。	複合施設が完成したら、文化センターと公民館は取り壊しになる予定と聞いている。残った施設への対応については、議会としても真剣に検討するよう話をしている。現在は床を張り替えるなど小規模修繕しか行っていないため、利用者の多いスポーツセンターだけ置き去りというのは議会としても見直しが必要だととらえている。残すのであれば、耐震化と長寿命化はセットでやってもらえるよう議会から提案している状況。
17	なぜスポーツセンターは一緒に複合施設へ入らないのか。	予算の関係だとお聞きしている。
18	予算の関係があることは承知しているが、中途半端なものはやめてほしい。	
19	今後人口は減っていくと思うが、支払っていけるものなのかな不安を感じる部分はある。	

20	アウトドアの拠点にするなら、アクティビティ体験後に入浴できるところがあった方がよい。	
21	モンベルが入っている道の駅は、ほかの道の駅と違ってたくさん車が停まっているように見えるが、実際はあまりお金を落としていかないなども聞いたことがある。	
22	留萌市の道の駅は、食べ物を扱ってはいるけど食べるところがなく、家族で食事をとる場所がない。自分もキャンプにはいくが、大体はお風呂、トイレがセットになっている。釣り人からも、「トイレはきれいで無料なのはありがたい、あとはシャワーがあれば最高」という話を聞いた。	
23	せっかくなら大きく造って、子どもたちの居場所になれるよう。お金はかかるだろうけれども、家賃収入で賄っていくような。少しでも貢献したいと思ってくれるような人が集まると思う。そういうのも考えると、やはり中途半端な建物はやめてほしい。	議会も高校生と意見交換をする機会があったが、行くところがないと言っていた。新しい施設は、子どもたちが集まるような場所にしたいということは、議会から市へ伝えている。別の意見交換会では、幼稚園を入れてほしいとの意見もあった。
24	市の職員が250、300人ほどだと思うが、あのエアコンもない建物で働いてもらうのは本当にしのびない。	それは議会も十分身をもって体感しており、承知している。